物理学のための数学講座 第一回 集合論と数理論理学

小桜 未来

2022年12月2日

1 集合

Ø:空集合

ℙ:素数

№:自然数

ℚ:有理数

ℝ:実数

ℂ:複素数

 $\{x|P\}: P$ が成り立つような x の集合

2 集合関係

∈:要素である。

Ex. $x \in \mathbb{R}$

 $\underline{\mathbf{Tr.}}$ x は集合 \mathbb{R} の要素である。

∉:要素でない。

 $\mathbf{Ex.} \ \forall x \in \mathbb{R}, x \notin \emptyset$

Tr. 任意の実数 x は空集合の要素でない。

○:部分集合である。

 $\underline{\mathbf{Ex.}}\ \mathbb{Z}\subset\mathbb{R}$

Tr. 整数は実数の部分集合である。

⊄:部分集合でない。

 $\underline{\mathbf{Ex.}}\ \mathbb{Q}\subset \mathbb{N}$

Tr. 有理数は自然数の部分集合でない。

3 論理記号

∃:存在。「ある~が、」「~が存在する。」という意味。

Ex. $\exists x \in \mathbb{R}$

Tr. 実数 x が存在する。

Ex. $\exists x \in \mathbb{R}, \exists y \in \mathbb{R}, x + y = 1$

Tr. ある実数 x, y に対して x + y = 1 が成り立つ。

∃!:一意的に存在。「ただ一つ存在する。」という意味。

Ex. $\exists ! x \in \mathbb{R}, x^2 = 0$

Tr. $x^2 = 0$ となるような実数 x がただ一つ存在する。

∀:全称。「任意の~」、「全ての~」という意味。

 $\mathbf{Ex.} \ \forall x \in \mathbb{R}, \, x^2 \geq 0$

Tr. 任意の実数 x に対して $x^2 > 0$ である。

∧:論理積。「かつ」という意味。

∨:論理和。「または」という意味。

¬: 否定。「~ではない。」という意味。

⇒:含意。「~ならば、~」という意味。

Ex. $\forall x \in \mathbb{R}, 1 < x \Rightarrow 1 < x^2$

Tr. 任意の実数 x に対して、1 < x ならば $1 < x^2$ 。

⇔:同値。

 $\mathbf{Ex.} \ \forall x \in \mathbb{R}, 1 < x^2 \Leftrightarrow (x < -1 \lor 1 < x)$

Tr. 任意の実数 x に対して、 $1 < x^2$ は 1 < x または x < 1 と同値である。

丁:真。

Ex. $(\forall x \in \mathbb{R} \Rightarrow x^2 \in \mathbb{R}) = \top$

Tr. 任意の実数 x に対して x^2 も実数であるという命題は真である。

丄:偽。

:: 結論。

::: 根拠。

4 集合の演算

 $\begin{array}{l} \cup: \ n$ 集合。 $\mathbb{A} \cup \mathbb{B} = \{x | x \in \mathbb{A} \lor x \in \mathbb{B}\} \\ \cap: \ \\ \not \in \mathbb{B}, \ \mathbb{A} \cap \mathbb{B} = \{x | x \in \mathbb{A} \land x \in \mathbb{B}\} \\ \times: \ \\ \dot \in \mathbb{B}, \ \mathbb{A} \times \mathbb{B} = \{(a,b) | a \in \mathbb{A}, b \in \mathbb{B}\} \end{array}$

5 順序構造

a < b: a と b の間に何らかの順序関係があるとき、a が先であることを表す。一般的には大小関係で a が b より小さいことを表す。

 $a \leq b: \, a < b \vee a = b$

(a,b),]a,b[: 開区間。 $(a,b) = \{x | a < x < b\}$

[a,b]: 閉区間。 $[a,b]=\{x|a\leq x\leq b\}$

(a,b],]a,b]: 半開区間。 $(a,b) = \{x | a < x \le b\}$ $[a,b), [a,b[: 半開区間。 <math>[a,b) = \{x | a \le x < b\}$

6 演算規則

結合則: $(A \cdot B) \cdot C = A \cdot (B \cdot C)$

交換則: $A \cdot B = B \cdot A$

分配則: $(A+B)\cdot C = A\cdot C + B\cdot C$

7 写像

 $f: \mathcal{G}_{\circ} f: X \to Y, X \xrightarrow{f} Y$

 $g\circ f$: 合成写像。 $f:X\to Y$ かつ $g:Y\to Z$ のとき $g\circ f:X\to Z$ 、 $X\stackrel{f}{\to}Y\stackrel{g}{\to}Z$ のとき $X\stackrel{g\circ f}{\to}Z$ f^{-1} : 逆写像。 $f:X\to Y$ のとき $f^{-1}:Y\to X$ 、 $X\stackrel{f}{\to}Y$ のとき $Y\stackrel{f^{-1}}{\to}X$

全射

単射